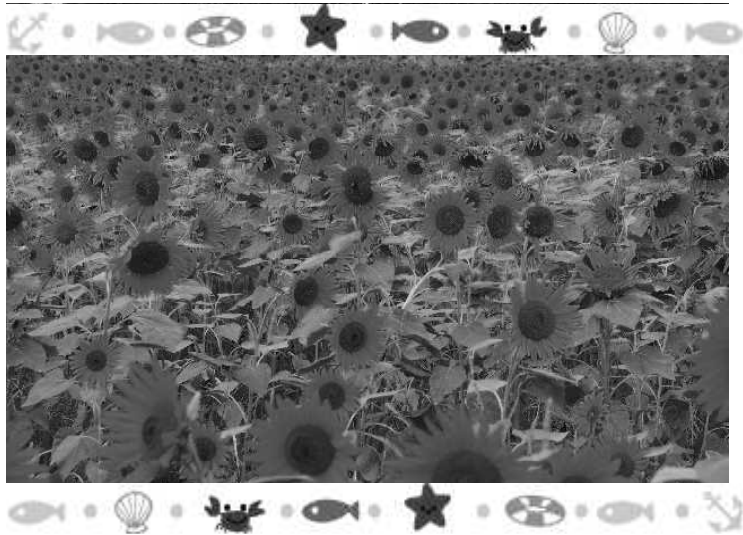


SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



2016年
7
月号



目次

- ☆高浜ビル取り壊しに伴う
風の子引越し問題について・・・2
- ☆2017年新春カレンダーの販売
・・・3
- ☆2017年新春カレンダーの販売
(カレンダー販売申込書)・・・4
- ☆暑気払い、高浜夏祭り感想・・・5
- ☆寄付のお礼・・・・・・・・・・・
・・・6
- ☆僕と彼女と時々僕の彼女（田中連載）
☆クラブボランティア募集・・・・・・・・7
- ☆Ryo'sエニグマルーム・・・・・・・・8
- ☆虫めがね～オリンピックの思い出～
・・・9
- ☆寄付のお礼、スケジュール・・・10
- ☆クイズの答え・・・・・・・・・・・11
- ☆メンバーのつばやき・・・・・・・・12



高浜ビル取り壊しに伴う風の子引っ越し問題について

港区役所障害者福祉課との定期ミーティング第10回

第10回面談、2016年6月24日（金）15時00分～16時00分、

第10回ミーティング、進展がありました。不動産物件視察を決めました。転居日程、幅はありますが、見えてきました。当面の重要事項は、不動産物件情報の収集です。港区内で60-70坪のスペースの空き室情報収集、ご協力お願いいたします。

1、不動産物件は、東急リバブルが、19物件が提示してきていました。風の子会で物件を見て回り、概要を把握しました。その結果に基づき、風の子会が利用可能な9物件をリバブル提示、オーナーへの面会セットを依頼したところ、二件が了解を得ました。他の物件は、風の子会の要望に合わない、および障害者の団体であること等により面会セットできませんでした。このことを区に説明、二件の物件視察を、7月6日に実施することを決めました。区の方と四人で行きます。

2、風の子会転居の日程確認では、退去最終期日、入居期日について確認しました。

①、退去期日は、オリンピックの日程から、最も早い場合、平成30年7月には工事開始が必要、6月末には、退去が必要とのことでした。正式な退去最終期日決定は、まだ不明だそうです。この7月に再開発事業が提示されて、大筋の日程が示され、事業を受ける企業の決定、7月、地権者（カナルサイド高浜の場合は港区）との交渉が始まるということでした。

②、入居日は、退去日から逆算すると5月入居として、設備工事等の日程を考慮すると、平成30年1月には契約、2～3月には工事発注が必要になってきます。一方で、風の会が入居できる不動産物件を決めるには相当の困難があることが予想されています。入居できる物件が見つかり次第、契約、設備工事開始をすることも視野に入れることが必要だと、考えています。このことを区に説明、理解を得ることができました。障害者福祉課は、風の子への助成金予算を29年度に確保、予算執行時期の予定が重要事項になります。

以上、今回のミーティングで話し合い、確認したことです。

第11回面談は、7月29日（金）午後三時としました。

kazenokokai@gmail.com

転居プロジェクト担当小野塚

3ページに不動産物件視察報告があります。

不動産二物件視察報告

7月6日、不動産二物件視察報告です。

I、芝ビルディング

45坪、第一京浜沿い、地理良し、一階便利、壁・床むき出し、スケルトン状態、設備工事費1500万円、賃料月77万、年間924万円、保証5百万円以上。オーナー側の不動産担当へ『契約できるのは、4月以降になるけど、、』、担当者『難しいなーーーー』『オーナーは契約を急いでいる、、、』区役所『無言で聞いている、、、、』

II、芝浦日新ビル

71坪、海岸通り運河沿い、広い、5階か7階、部屋明るい、いつでも入れる、手直しは少しで良さそう、賃料月61万円、年間732万円、保証金400万円程度。駐車場有、月2万5千円、空きは不明。ただただ、エレベーターが狭そう、風の子メンバー大型車椅子、載れるか?????最大の問題だ。

両方とも、風の子会入居その物は可能でした、しかし、条件に一長一短あり、多額の資金負担、エレベーター問題がありました。風の子転居プロジェクト、課題解決の壁は高い。7月26日第11回区役所定期ミーティングがあります。



外に出よう感想

風の子会の企画、外に出ように初めて参加した。
外に出ようはすごくよかった。
ボランティアの人もよくやってくれたし、これからも
続けて欲しい。

森 杉

風の子に入社して、五月で一年が経ちますが外に出ようは今回が初めてでした。どうゆうことをするのか不安でしたが、当日を迎えるとあっという間でした。今回は上野を散策しに行きました。駅の使い勝手の調査やアメ横での買い物を楽しみました。人混みで大変なこともありましたが、無事に終えることができ何よりでした。参加して下さったボランティアの皆様、ありがとうございました。

石森 翠



夕会便り

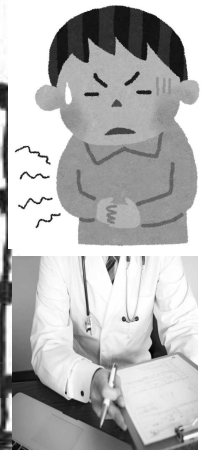
五月七日【小出先生の講義】

風の子主治医である小出先生が来所され「食中毒」について、講義をしていただきました。表情や食中毒にならないための注意事故などを教わりました。食中毒ならなくするのは、健康に気をつけて肉やレバーなどの食材は、生で食べてはいけないことを説明をしていただきました。

五月二十七日【歌と踊りの集いについて】

今年の歌と踊りの集いで、風の子の出し物として「忠臣蔵」を行われることになり、その役割分担を決めました。今年も、俳優人と声優人別れて行われることになりました。堀部＝田中・塚田、大石＝森・斉藤ほかなどを決めました。

田中 聡



活動報告



五月は外に出ようの準備で忙しそうだった。本番の時は頑張ってもらいたいなと思った。
後は、小出先生がきました。食中毒の話をしました。楽しかったです。
あとは、メンバー実習に若い人が来ました。風の子に入って欲しいなと思いました。

松本 恵司

クラブ活動報告



今回のクラブ活動では、運動部の田中くんが急遽テーブルゲーム部に来られたので、テーブルゲーム部は初の5人で遊ぶことが出来ました。人数が多ければ多いほどゲームは楽しめるので、イレギュラーとはいえ5人で遊べて楽しかったです。テーブルゲーム部はいまだ固定部員は僕と職員の秋葉さんの二人なので、どなたか「遊び相手」として来てみては頂けませんでしょうか。
フール部は港区のスポーツセンターで楽しく活動したそうです。
声楽部は楽しく歌を歌い、料理部は粉からパスタを作ったそうです。

田村 亮彦

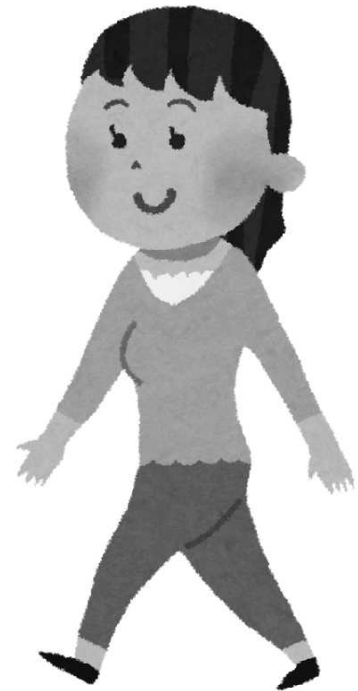




一人外に出よう

それをちょっと書いてみましょう。まず忙しそうな人には絶対に頼まない、頼む人はゆっくり歩いている人、それから女の人で男の人と歩いている人、これらの人たちに、頼めば簡単に引き受けてくれます。ではいったいどんなところにぼくが頼むとお思いでしょうか。ところでもう春になったのでそろそろ、始めようかなと考えているところ。その前にどこに行ったらかを書いてみたいと思います。なぜ僕が「一人外に出よう」をやりたいくなったかといえば自分の目で現状を見てみたかったからです。まだ前と同じでしょうね（笑）それでは皆様僕のこの欄での読み物は、これで終わります。本当にありがとうございます。

太田 稔



バリアフリーよもやま話 第51回 「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」 岡本 明

「あなたたちは車いすに乗っていて不便でしょうから、今年のお花見はやめて、部屋でのビデオ鑑賞にしました。そのほうがずっと楽でしょう。」

「そんなあ。楽しみにしてたのに。なんで私たちの意見を聞かないの。」

「おそばは食べさせにくいから、あなたの好きなお寿司にしました。」

「えー、せっかく名物のわんこそばを食べられると思ったのに。私はおそばだって少しずつ口に入れてくれれば大丈夫なのに。勝手に決めないでよ。」

こんな思いをしたことは何度もあるでしょう。本人の気持ちや意見を無視してものごとが決まってしまう。障害のある人の日常生活はこういうことであふれていると思います。そしてこれは、もっと基本的な法律を決める際にも同じです。障害のある人に関する多くの法律が、当事者を抜きにして決められています。その結果、障害の重い人ほど介護費用負担が多くなるという「障害者自立支援法」のような法律が決まってしまいました。これに対し、この法律は憲法に反するものだとし、廃止を求めた裁判が起こされました。国もその誤りを認めて、2010年、国と原告団の間に基本合意書が取り交わされて和解に至りました。

そして基本合意に基づき、新しい法律を検討する「障がい者制度改革推進会議」が内閣府に設置されました。メンバーの過半数は障害のある当事者で、まさに当事者の声を反映し、議論を重ねて新しい法律の制定をめざした「骨格提言」を出しました。現在の「障害者総合支援法」はその提言をもとに作られたものとされていますが、内容はかなり変わってしまっているため、「基本合意」と「骨格提言」を守るように求める運動が続いています。



「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」は、この「推進会議」や現在の運動のスローガンです。当事者のことを勝手に決めないで、という願いが込められています。

実はこのスローガンは、国連の「障害者権利条約」（日本は2014年に批准しました）策定の際のスローガンとして用いられたものです。これは、米国の生物学者・ボストン大学客員教授のデビッド・ワーナー氏の著書のタイトル「Nothing About Us Without Us（私たちのことを、私たち抜きに決めないで）」を引用したものとされています。ワーナー氏は、障害のある人の自立と地域に根ざした保健、障害分野のパイオニアです。ご自身も筋委縮症患者です。

私はこのタイトルはワーナー氏のオリジナルだと思っていたのですが、ワーナー氏が2009年に来日された際のインタビューによれば、「この言葉は私が作ったものではないのです。自立生活運動のスローガンとして使われていて、そこから拝借したのです。」ということでした。もっと古くから使われていたのですね。さすがは自主、独立を重んじるアメリカです。日本ももっと当事者の声を大切にするようにしていきたいものです。

昔から風の子会では、メンバーが中心になって話し合う「夕会」でいろいろなことを決めていきます。夕会で決めたことは運営委員会や理事会でも最も尊重されます。実質的な風の子会の最高意思決定機関ともいえます。「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」を古くから実践していることを誇りに思って、これからもどんどん夕会で自分の意見を言いましょ。

僕と彼女と時々僕の家族

そして、二人は二十歳の成人になり、家族皆で北海道へ旅行をしに行きました。小樽と札幌へ行ききました。「白い恋人」で有名な、石屋製菓の工場見学や小樽のオルゴール堂に行ったり、カニやイクラなどの海の幸を満喫したり、ビール工場へ行きジンギスカンを腹いっぱい食べて、家族の笑顔や彼女の微笑みが今でも忘れられません。三泊四日の旅を楽しみました。楽しかった北海道旅行も終わり、二人とも大学生活を送るのでした。僕は大学へ通いながら、母の友人の紹介で「某、自立生活センター」へ入会をしました。その代表の方も障害があり、ホームヘルパーなどを利用して、一人暮らしを成されて居られた方でした。

SATOSHI・TANAKA



クラブボランティア募集

風の子会では、毎月最終土曜日にクラブ活動を行っています。

運動部、料理部、手芸部、読書部などメンバーそれぞれがやりたい活動をしています。

そこで一緒に活動に参加してくれるボランティアさんを募集します。

メンバーと一緒にクラブ活動に参加してみませんか？

詳細は風の子会までお問い合わせください。

次回のクラブ活動は7月30日（土）（仮）13時からの予定です！

皆様のご参加お待ちしております！

風の子会メンバー一同

TEL：03-3474-9674



Ryo's エニグマルーム

			2		
				2	
3					
		4			
	1				2

与えられたヒント数字をもとに、かべ（黒マスのブロック）をつくりながら島（白マスのブロック）をつくっていくパズルです。数字は同じブロックにおける白マスの数です。黒マスは一続きになり、 2×2 ニマス以上のかたまりになってはいけません。それぞれの白マスのブロックには一つの数字が必ず含まれ、タテヨコに分断されません。

かべパズル



虫めがね ～オリンピックの思い出～



オリンピックは毎回観ているけれど、特に何か覚えているかと言われると、正直しんどい。過去のオリンピック映像を見て「ああ、こんな試合確かにあったなあ！」とは思いますが、自分の脳内記憶にあるかといえば、かなりあやしい（F1ならけっこう熱く語れるけれど）。

というわけで、これ以上は語りようがない。

小野塚 航

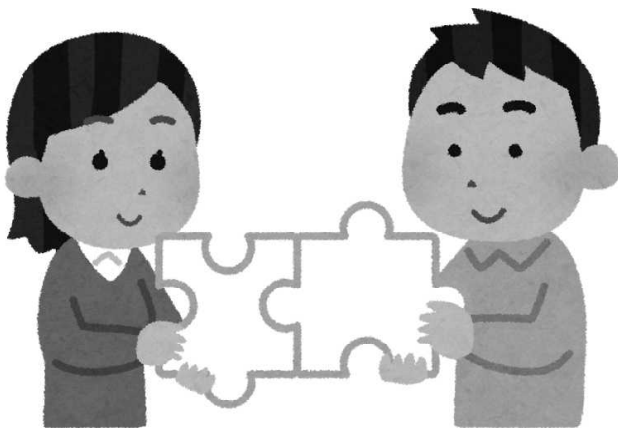
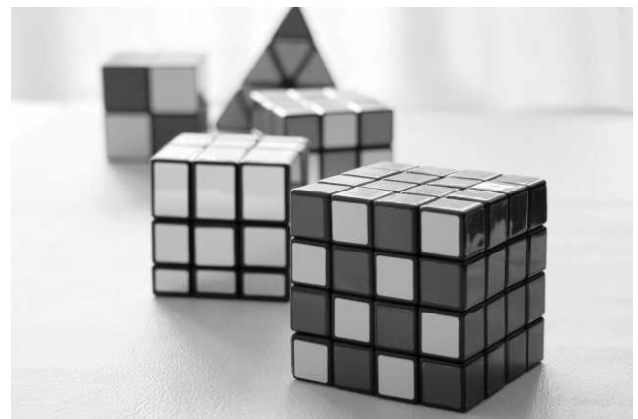
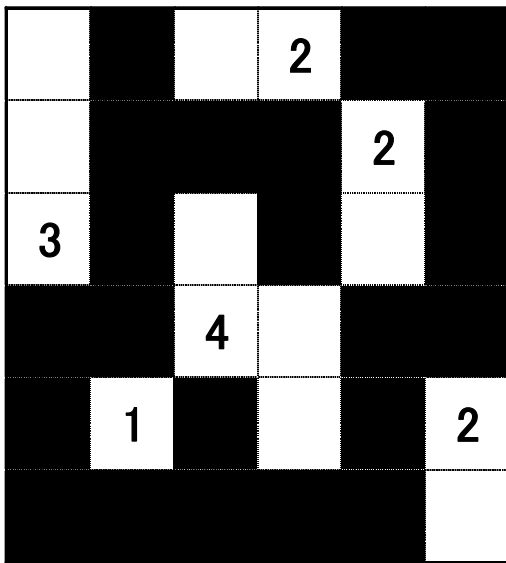


私、思い出のオリンピックは16年前のシドニーオリンピックです。マラソンを応援しました。高橋尚子選手がシドニーの街を走りました。高橋選手はサングラスを投げました。全力で走りました。1位で金メダルを取りました。感動しました。高橋選手は耳にイヤホンをしてました。音楽を聴いて、リラックスしてました。シドニーの天気は晴れでした。気温も上がりました。私はテレビを見てました。インタビューの時に言っていました。一番楽しい42.195キロでした。って答えてました。

柳川 敬事



クイズの答え



僕はニュースを見るのですが、最近はくだらないニュースで騒ぎになりすぎです。例えば政治家の汚職問題、事件、殺人、脱法ハーブ。その他世の中には、くだらない事が多すぎる。最近の政治家の汚職で言うと舛添の問題が起きて私は怒ってます。

塚田 愛基

最近はずいぶん風の子にいる意味が分かってきた僕に何かさせ頑張ってもらいたいと思ってる気持ちだ。三浦さんにも休んでもらいたいある意味妻にも榊原さんにも感謝感謝の毎日だ今俺はどうして生活して行くか少しずつ考えている

森 杉

メンバーのつぶやき

最近よく観るテレビ番組は、「警察24時」・「万引きGメン」・「税金Gメン」等の特集番組やドラマです。「警察24時」を観ると最近の日本の警察がいかにすすんでるのが分かります。最新の車両とヘリコプターを保有してるので、空から追跡し、情報を送り地上のパトカーに伝えて追い詰めるので交通違反の車も見逃さず犯人確保したり、日本の鑑識もどんな些細な破片でも車両特定に繋げて犯人逮捕するんですから流石日本の警察ですね。治安がいいのも頷けます。

「万引きGメン」を観ていると、寂しい高齢者が多いのか安いものを2〜3品万引きしてます。その理由が「お金は持っているけど、でも・・・」、「お金は使いたくない」と啞然とする理由ばかりです。2013年の未成年者における検挙人数は1万6760人・高齢者は2万7953人。2008年、2011年以降は連続で2013年まで「高齢者の万引き者数が未成年者以上」の状態になっています。未成年者数が減っているから高齢者数が増えているのが目立つのかもしれません。まさに少子高齢化社会を表しています。だからこそ「万引きGメン」が必要になってくるのです。この万引きGメンは何がすごいかといいますと観察眼と動態視力です。レジを抜けて店を出たところを捕まえてスタッフルームで尋問して悪質だったら警察に引き渡すそうです。それでも被害額は、年間で4615億円・1日換算で12.6億円に上っているそうで、そのせいで小売店や本屋がどんどん潰れているらしいです。店側も対策はしても減らないのが万引きです。もうこれ以上お店が減らないことを願います。

「税金〜」を観ていると腹立たしくなるばかりです。何が腹立たしいかといえば、税金が払えるお金を持っているのに払わないことです。大抵そういう人は高級な車に乗って、大型のテレビを所有していて差し押さえに来たGメンへの理由が「知り合いから借りたもの」と皆共通して言うのですが、Gメンには通用しません。確かに日本の税金は高いですが払うべきものは払ってください、そうすれば税金滞納〜家宅捜索されずに済むのですから・・・。

最近の1時間ドラマに出てくる俳優は（主演俳優・女優）下積して演技の勉強してるようには感じられなくて何か物足りなく感じます。2時間ドラマに出てくる俳優・女優は、舞台経験があるからなのかいい演技を観せてくれます。いい演技のドラマを観ると感慨も一入（ヒトシオ）です。

三木 直人

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

幸森松田小太
本村野田
塚
高杉恵亮 圭
史 司彦航子

和柳三塚田太
栗川木田中田
頭
太敬直愛
郎事人基聡穂

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>
ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

